

施策評価シート (平成28年度の振り返り、総括)

作成日 平成29年 04月 05日

施策 No.	12	施策名	文化芸術の振興
主管課名	文化課	電話番号	0285-83-7731
関係課名			

施策の対象	市民								
対象指標名	単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	31年度見込
人口	人	82,584	82,136	81,511	80,929	80,698	80,590	79,422	80,200

施策の意図	市民だれもが文化芸術に触れ親しみ学ぶ機会を拡充するとともに、文化芸術施設の整備充実に努め、文化芸術のかおり高いまちづくりを進める。								
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法(算定式など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化芸術の鑑賞、発表、学習機会の提供については、市民会館利用人数、市民会館自主事業数、久保講堂利用人数を指標とする。</li> <li>文化団体支援については、文化協会加入団体数、文化協会会員数を指標とする。</li> <li>市民の文化芸術活動への参加については、文化芸術活動に参加した市民の割合、文化芸術に興味・関心がある市民の割合を指標とする。</li> <li>真岡の文化芸術の市内外への発信については、美術品展示館入場者数、久保資料室入場者数を指標とする。</li> </ul>								
成果指標名	単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	31年度基本計画目標値
文化芸術活動に参加した市民の割合	%	18.2	17.2	19.1	15.1	13.5	15.3	15.7	25.0
文化芸術に興味・関心がある市民の割合	%	65.6	66.2	65.4	62.9	64.6	64.2	62.9	75.0
市民会館利用人数	人	114,882	9,892	37,912	41,106	70,283	98,767	105,970	101,000
市民会館自主事業数	件	10	0	3	3	6	5	7	12
久保講堂利用人数	人	3,540	13,421	17,936	17,106	25,733	23,643	24,272	18,000
文化協会加入団体数	団体	159	157	153	155	150	147	141	160
文化協会会員数	人	2,504	2,463	2,259	2,426	2,411	2,338	2,129	2,500
美術品展示館入館者数	人	—	—	—	—	16,232	23,527	18,715	5,200
久保資料室入館者数	人	—	—	—	—	12,597	18,731	16,076	5,200

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	<p>市民は、自ら積極的に、文化芸術に興味を持ち活動する。</p> <p>行政は、文化芸術活動の企画運営と環境整備を行う。また、文化活動を担う人材や文化団体の育成支援を行う。</p>								
-------------------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 施策の成果水準とその背景（近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること）

（１）施策結果の時系列比較（過去３年間の比較）

市民会館は、東日本大震災で被災したため、再整備工事を行い、平成２６年７月にリニューアルオープンした。また、二宮文化会館は平成２６年度から生涯学習施設に用途変更した。このため、市民会館の利用人数は、平成２６年度が７月からの利用で７０，２８３人、平成２７年度が９８，７６７人、平成２８年度が１０５，９７０人と増加傾向にある。

久保講堂については、２万人台で推移している。

歴史的建造物である久保邸を保存活用するため、久保記念観光文化交流館を平成２４年～平成２６年にかけて整備し、平成２６年１０月に開館した。

市民意向調査では、文化芸術活動に参加した市民の割合は、平成２５年度が１５．１％、平成２６年度が１３．５％、平成２７年度が１５．３％、平成２８年度が１５．７％で前々年度より２．２ポイント、前年度より０．４ポイント上昇した。

また、文化芸術に興味・関心がある市民の割合は、平成２５年度が６２．９％、平成２６年度が６４．６％、平成２７年度が６４．２％、平成２８年度は６２．９％で前年度より１．３ポイント低下した。

（２）近隣他市との比較

市民会館のある市町は、県内２５市町のうち、１７市町となっている。

また文化協会の会員数は、平成２８年度は真岡市の２，１３３名に対し、足利市３，０００名、日光市１，８７１名、小山市２，０３７名、佐野市１，６２８名であった。人口に対する会員数の割合は、各市ともほぼ同水準となっている。

（３）住民期待水準との比較

市民意向調査での今後のまちづくりに力を入れてほしい施策で「文化芸術、スポーツの振興」の割合は、平成２５年度が１１．５％、平成２６年度が９．５％、平成２７年度が１１．２％、平成２８年度は１１．７％で、前年度より０．５ポイント上昇した。

28年度の  
評価結果

2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み（事務事業）の総括

市民だれもが文化芸術に触れ親しみ学ぶ機会を拡充するために以下の取り組みを実施した。

- ・市民会館では、市主催各種自主事業を7回、映画会を8回実施した。
- ・久保講堂では、真岡市文化祭、芳賀教育美術展、雛飾り、盆栽展等17団体で130日の利用があった。
- ・音楽祭では、小学校から一般の音楽団体の21団体830人の参加があり、特別演奏として「MCFオーケストラのメンバーによる打楽器とマリンバアンサンブル」を鑑賞し、観客数は652人であった。
- ・移動音楽鑑賞教室では、優れた音楽や演劇を直接鑑賞する機会を提供し、芸術に触れる喜びを体験させるため、市内中学校2年生対象に「和太鼓とマリンバ・ガナ たたいて音楽」を実施し、760人の参加があった。
- ・文化協会については、文化団体の連絡・交流・連携のもと、各種発表会、研修会、展示会を開催した。
- ・文化祭では、市民の文化芸術の発表の場として15部門で29日間開催し、応募数は1,726点であった。
- ・市美術展では、「私の好きな美術品 ～幾何紋様の陶磁器と日本画～」を企画開催し、入場者数は1,283人であった。
- ・市民芸術鑑賞（美術館めぐり）では、市民の美術鑑賞の機会を設け、本物の美術品に触れることで美術に対する理解を深めるため、東京都美術館、茨城県近代美術館、茨城県陶芸美術館の企画展を鑑賞し、参加者数158人であった。
- ・芳賀地方芸術祭では、芸術の普及奨励と郡市民の文化生活の向上を図るため、郡内各地で開催され、出品点数は12,335点あり、そのうち真岡市民の出品点数は6,290点であった。
- ・子ども未来育成事業のジュニア音楽教室では、子供たちの音楽性の向上を図り、生涯にわたって音楽を愛好する態度や意欲を育てるとともに、人間性や社会性を育む環境を創出するため、専門的な楽器に触れ学ぶ教室を開催した。ヴァイオリン初級教室12名、ヴァイオリン合奏教室4名、琴初級教室5名の参加者に対し、各教室それぞれ計12回の教室を開催した。
- ・子ども未来育成事業の指導者派遣事業では、吹奏楽に係る指導者・生徒のスキルアップを目的に、小中学校に吹奏楽の指導者を89回派遣した。
- ・クラシック音楽鑑賞教室では、クラシック音楽の聴きどころや作曲家、作品の紹介などをわかりやすく案内し、広く市民が音楽文化に親しむ環境の充実を図るため、教室を2回開催し、参加者数は335人であった。
- ・久保記念観光文化交流館美術品展示館は18,715人、久保資料室については16,076人の来場者があり、美術品展示館では、久保コレクションを中心に年4回のペースで企画展を開催した。作品展示のほかワークショップや作家を招聘した講演会を実施した。久保資料室では、久保貞次郎氏の功績や人柄をよりわかりやすく伝えるため展示物品の入替を図った。
- ・若手演奏家支援事業は、真岡市にゆかりのあるクラシック音楽の若手演奏家に発表の場を与え、支援し、本市の文化芸術の向上を図ることを目的とし、平成28年度から実施している。平成28年度はコンサートを1回開催し、245名の入場者があった。支援者：大越絵梨花（フルート奏者）

28年度の  
評価結果

### 3. 施策の課題認識と改革改善の方向

(1) 市民会館については、市主催各種自主事業や映画会等において、魅力ある事業を計画し、舞台芸術の振興に努める。利用しやすい会館運営を行い、多くの民間イベントや発表会に利用されるよう努めていく。

(2) 久保講堂については、市の貴重な文化財として保存に努めるとともに、市民の文化活動の発表の場として積極的に活用する。

(3) 文化協会については、価値観の多様化や高齢化の進展により団体数会員数の減少が続いているのが大きな課題である。文化協会の活動を多くの人に知ってもらい、もっと活動の幅を広げていけるようなシステムの構築が重要である。

(4) 久保記念観光文化交流館美術品展示館、久保資料室については、今後さらに来場者をいかに増やしていけるかが課題である。魅力ある企画展の開催や展示物品の入替を行う。

(5) 文化芸術のかおり高いまちづくりをより一層進めるためには、新たな文化芸術の拠点づくりが必要である。市民を含め来訪者が気軽に立ち寄って文化芸術に触れ親しむことができる「まちかど美術館」の整備を進める。

28年度の  
評価結果

補足事項

平成28年度市民会館利用状況

1、稼働率

・大ホール 利用日数(201日) ÷ 利用可能日数(257日) = 78.2%  
・小ホール 利用日数(252日) ÷ 利用可能日数(276日) = 91.3%

2、利用内容ごとの件数及び利用者

・大ホール	音楽(練習含む)	128件	46,061人
	演劇(練習含む)	19件	6,010人
	民舞吟	14件	1,940人
	式典・大会・講演会等	35件	13,674人
	映画上映	11件	6,302人
	発表会・その他	37件	10,971人
	合計	244件	84,958人
・小ホール	音楽(練習含む)	273件	14,166人
	演劇(練習含む)	6件	80人
	民舞吟	2件	50人
	式典・大会・講演会等	61件	6,393人
	映画上映	0件	0人
	発表会・その他	13件	323人
	合計	355件	21,012人